取扱説明書 ―― 保管用

バリードライト
（防雨型/密閉型/車輌荷重型/LEDタイプ）
ご使用になられる前に必ずお読み下さい

この取扱説明書には取り付け方や光源ユニットの交換方法、お手入れのしかたなどご使用にあたり重要な事柄が書かれてあります。
この取扱説明書を大切に保管して、お手入れなどの際にご利用ください。

お客様へ　：この器具の取り付け工事は必ず電気工事店（有資格者）にご依頼ください。
　　一般の方の工事は法律で禁じられています。
工事店様へ：工事が終わりましたら、この取扱説明書を必ずお客様にお渡ししてください。

■ 仕様

品　名	適合電圧
MD20484-40-91	AC100V（±6%）

※１回路の最大接続台数は20台までです。20台を超える場合は別途ご相談下さい。

●車輌荷重型/LEDタイプについて:乗用車程度の一般車輌通過時の荷重に耐える構造となっています。
チェーン、スパイク付の車が通過する場所への設置は避けてください。

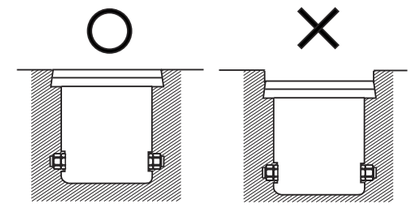
この取扱説明書のマークについて。

⚠ 警告　説明書中の　警告　は重大な人身事故の原因となる危険を示します。
⚠ 注意　説明書中の　注意　は物損及び障害事故の原因となる危険を示します。
❗ このマークについている説明文は、必ず守ってください。
🚫 このマークについている説明文は、行ってはいけない禁止事項です。

● 取り付け 取扱い上の注意

⚠ 警告

❗ LED光源を長時間直視すると目を傷めることがあります。
★十分にご注意ください。



🚫 次のような場所には取付けないでください。
○水中や水没する恐れのある場所には使用できません。
★防水性が損なわれ、感電や漏電事故の原因となります。
○強酸、強アルカリの地質および雰囲気では使用しないでください。
★器具の破損によるケガや漏電、感電事故の原因となります。

❗ ○電源線は2種EP絶縁クロロプレンキャブタイヤケーブル(2PNCT) 3芯Φ10.5～Φ11.5専用です。
○他のケーブルは使用できません。(VCT等不可) ○締付ナットを外しコーキング等の処理はできません。
★指定外ケーブルの使用・施工は器具の防水性を損ない(器具内への浸水)、感電や漏電事故の原因となります。
○接地(アース)工事は必ず行ってください。
○配管と器具と接続は呼び22(厚鋼電線管ネジ)のアダプタ-を使用します。
(呼び22以外のアダプタ-は使用できません)

🚫 ドライバ-など異物を差し込まないでください。
★感電事故の原因となります。

🚫 器具を布などで覆わないでください。
★過熱して、発煙や発火の原因となります。

🚫 器具の改造や構成部品の変更、改造はしないでください。
★火災や感電事故の原因となります。

⚠ 注意

❗ この器具は周囲温度5℃～35℃の中で使用してください。
★過熱して、発煙や発火、ユニット寿命短縮の原因となります。

❗ AC100V専用です。必ずAC100V(定格電圧±6%)の電源で使用してください。
★定格電圧より高い電圧で使用すると、通熱し、火災の原因となることがあります。
★定格電圧(100V)以外で使用した場合、器具寿命が短くなることがあります。

🚫 ヒビの入ったカバ-や、一部の欠けたカバ-は使用しないでください。
★カバ-の破損、落下の原因となります。

●お手入れについて ⚠注意 ❗必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

●こまめに清掃を:ガラスの表面は製品の配光効率の維持と危険防止のために常に清掃をお願いします。

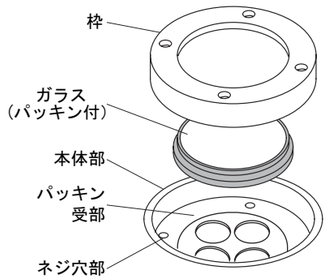
●メンテナンス時には以下の点に注意してください。

◆雨天時及び器具表面が濡れている時のメンテナンスは、避けてください。
枠を外す時、雨水等が器具本体内に浸水する恐れがあります。
★水の浸入による火災・感電の原因となります。

◆異物混入を防ぐため、枠・パッキン・ガラス・本体部(特にネジ穴部およびパッキン受部)のゴミ、砂等を完全に除去してください。
★浸入による火災・感電の原因となります。

◆パッキンが損傷した場合は交換してください。
(使用期間３年を目安に交換することをお勧めします。)

◆枠取付け時、ネジは対角線上に順次均等な締めつけをしてください。
(全てのセットネジに緩みがないように再確認してください。)



⚠ 注意

●直接素手で触らないでください。きれいな手袋などを使用してください。
汚れた場合は、アルコールなどを浸したきれいな布で拭きとってください。
★ガラスが劣化して破損や短寿命の原因となることがあります。

●濡れた手で触らないでください。
★感電事故の原因となります。

◆ 器具のお手入れ

●汚れを落とす場合は、必ず電源を切って行ってください。**感電・やけどの原因**となります。
石鹸にひたした柔らかい布を、よく絞ってふきとり、乾いた布で仕上げてください。
シンナー・ベンジンなどの揮発性のものでふいたり、殺虫剤をかけたり、クレンザーなどは使用しないでください。**変色・変質・器具に傷を付けたりする原因**となります。

■ 器具の点検

●1年に1回は弊社ホームページ記載の「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。
3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。点検せずに長時間使い続けると、**火災・感電・落下**の原因になります。
また、防水性を保つ為、定期的(3ヶ月～半年に１度程度）にセットネジのゆがみが無いか確認してください。（セットネジのゆるみがありましたら、付属の六角レンチでネジを均等に増し締めしてください。）

■光源ユニットの交換

⚠注意 ❗ この器具は、構造上お客様が光源ユニットを交換することができません。

■ 器具の寿命

●照明器具には寿命があります。設置して10年(使用条件は周囲温度30℃､1日10時間点灯､年間3000時間点灯です。)経つと､外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検･交換してください。

●周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合などでは寿命が短くなります。

■ 器具の保証

●この商品の保証期間は1年間です。ただし、安定器は3年間です。ランプ・グロー点灯管等の消耗品は除きます。詳細は弊社カタログ及びホームページの最新版をご参照ください。

●保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し入れください。

●弊社はこの照明器具の補修用性能部品(電気部品)を製造打ち切り後、6年間保有しています。
補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

お客様相談窓口

マックスレイ株式会社
http://www.maxray.co.jp

東京　03-3791-2711
大阪　06-6967-0123
名古屋　052-252-9556
福岡　092-431-7824

● 使用上の注意

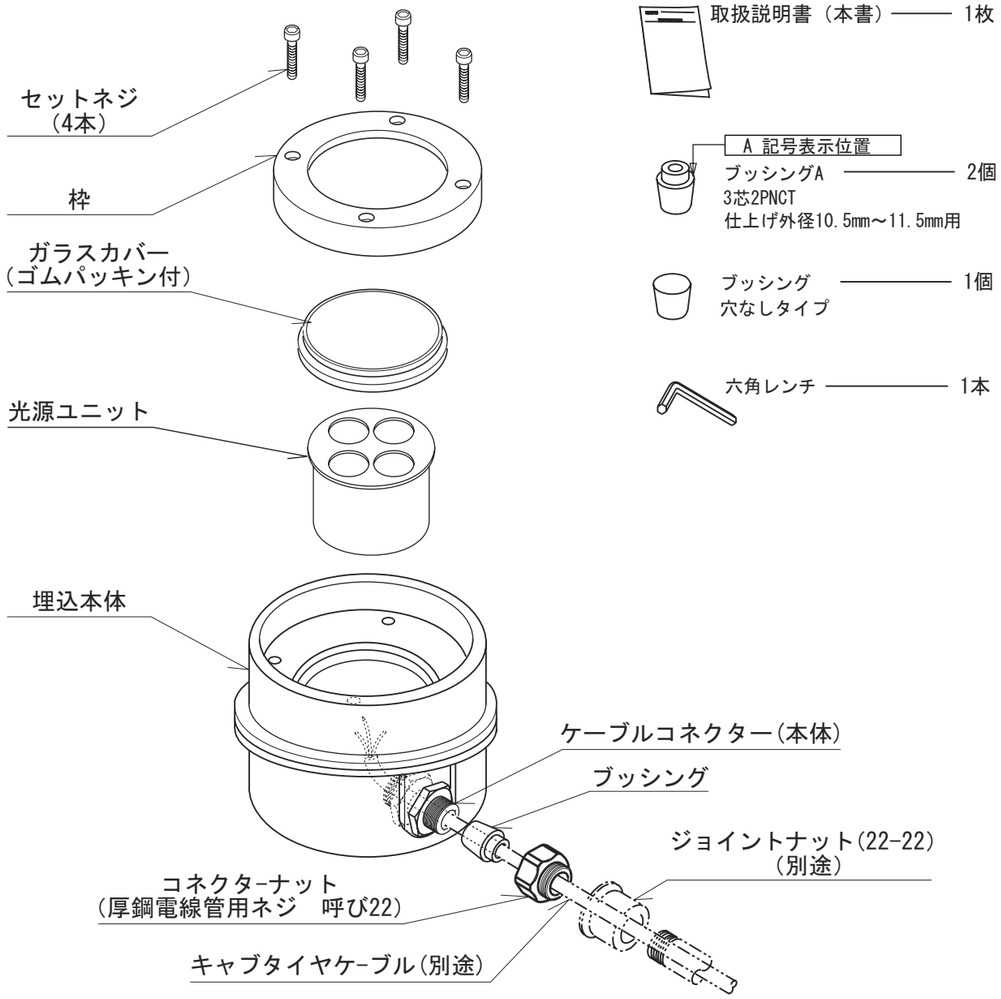
⚠ 注意

- 照明器具には寿命があります。設置後、通常のご使用で8～10年後には外見に異常が無くても内部劣化が進んでおります。点検・交換をお勧めします。※通常の使用条件とは周囲温度30℃、年間3000時間点灯です。（JIS C8105-1 解説による）
- LED光源にはバラつきがある為、同一品名商品でも色・明るさが異なる場合がございます。予め御了承ください。
- 照射距離が近い場合や照射面によっては光ムラが気になる場合があります。予め御了承ください。
- 他の電気機器からの影響による電源電圧の変動によりちらつく事があります。予め御了承ください。

● 各部の名称

（説明図は、一部を省略抽象化した図です。）
（不足している部品があった場合には、お買い上げ店またはマックスレイ・お客様相談窓口までご連絡ください。）

■ 器具構成図



■ 付属品

● 取り付け方

⚠ 注意 ❗ 必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

⚠ 警告 ❗ 器具の取り付けは、説明書に従い確実に行ってください。
★取り付けに不備があると、感電や漏電事故の原因となることがあります。

1、埋込み本体の取付け方法

1. 枠、ガラスカバー、光源ユニットを埋め込み本体からはずします。（付属の六角レンチ使用）
2. セットされているコネクターナット、ブッシングをはずします。
3. 埋め込み本体を設置場所に入れます。
4. 電線管からのケーブルに予め速結コネクタ(別途)、ジョイントナット（呼び22別途）を通します。
5. ケーブルをコネクタナットに通します。
   ❗電源線は3芯キャブタイヤケーブルΦ10.5～11.5(2PNCT)を必ず使用してください。
   他の電源線は使用できません。
   ★防水性が損なわれ、感電や漏電事故の原因となります。
6. ケーブル外径にあったブッシングにケーブルを通します。

ブッシングA：3芯2PNCT(1.25～2㎟)　仕上げ外径10.5mm～11.5mm用

※ブッシングA 2個は、ケーブルコネクターにセット済みです。

7. ケーブルをケーブルコネクターに通し器具内に引き入れます。
8. ケーブルコネクターにブッシングを押入れコネクタナットを締めこみます。
   ★埋設後の処理はできません。確実に施工してください。浸水の原因となります。
9. コネクタナットにジョイントナット、他をセットし電線管を接続します。
   ❗送り配線しない場合は、片側のケーブルコネクターに穴なしブッシングを、必ずセットします。
   ★防水性が損なわれ、感電や漏電事故の原因となります。
10. 器具開口部に養生を施し埋め込み本体をG.L仕上げ面に合せ設置場所に固定します。

2、光源ユニットの結線

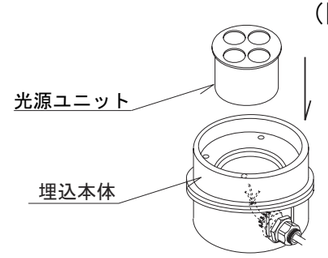
1. 光源ユニット口出線と電源線、電源送り線を結線します。
2. アース線を接続します。

3、光源ユニットのセット　（図3）

光源ユニットを埋込本体にセットします。

❗★光源ユニットには強く力を
かけないよう注意してください。
防水性能や光の方向性が
損なわれることがあります。

（図3）



4、枠・ガラスカバーのセット（図4）

1. 埋込み本体内が濡れているような場合には、
   完全に乾燥させてください。
2. 埋込み本体と枠が接する部分(パッキン・ガラス面)、
   ネジ穴部のゴミ､砂利などの異物を完全に除去します。
   ❗★埋込み本体と枠の間に異物がはさまると
   密着が悪くなり防水性が損なわれ、感電
   や漏電事故の原因となります。
3. ガラスカバー(パッキン付)を埋込み本体の中心
   にのせ、枠を埋め込み本体に合わせ入れます。
4. セットネジ(４本)を付属の六角レンチにて対角
   線上に順次均等に締め込み、枠を固定します。
   (全てのセットネジに緩みがないように再確認
   してください。)

（図4）